

ルーブリック（断熱変化）

○パフォーマンス課題の内容

断念圧縮の実験に取り組み、空気の急激な圧縮による綿の発火の仕組みを考察する。また、断念膨張の実験に取り組み、雲ができる仕組みについて考察する。

これらの実験と考察を踏まえ、太陽コロナの温度に関する未解決問題について自分の考えをまとめる。

達成度 評価の ポイント	評価の観点	レベル3 (十分に満足)	レベル2 (おおむね満足)	レベル1 (努力を要する)	評価の 資料
実験の操作や結果の観察を、安全に十分留意し適切な方法で実施することができたか。	【観察・実験の技能】	安全に留意しながら正しい操作で実験に取り組むとともに、丁寧な観察ができています。	安全に留意しながら正しい操作で実験に取り組んでいる。	安全への留意に不十分な点があるが、実験に取り組んでいる。	指導者の記録 実験プリント
扱った物理現象の仕組みを、既習の内容を生かして適切に表現できたか。	【思考・判断・表現】	既習の内容を組み合わせた明確な根拠を基に、観察された現象を考察できています。	誤りが見られるが、自分の根拠を基に、観察された現象を考察できている。	考察には至らないが、観察された現象を記録できている。	実験プリント

※レベル1に到達していない場合は、本実験の適切な進め方と考察のポイントについて、個別の指導等を通して学び直す機会を設ける。